



大森 正治 議員

高校生の通学費に助成を

町長

現在は考えてない

【大森】教育に支出する公財政の割合が、日本はOECD諸国で最下位。そのため、私費負担はワースト4位。高校以上になると学費が増大する。

子育て世代の経済的負担を軽減するために、高校生の通学費への助成を真剣に検討しないか。

【町長】義務教育ではなく、町財政がきびしいなか、現時点では考えてない。

【大森】同和地区生徒限定の進学奨励資金交付事業は、平等に町内生徒全員を対象にすべきではないか。

【町長】部落差別解消のために実施している。現在考えてない。

【大森】地方創生の総合戦略が、子育て支援に活用できるのでは。

【町長】先の答弁どおりである。

【大森】TPPPの大筋合意は、重要5品目を配慮せよとの国会決議に反する。農業のまちは大山町へはどのような影響が予想されるか。

【町長】米は、価格水準の注視を要する。ブロッコリー・白ネギ・梨への影響は少ない。畜産へは当面限定的と予想する。

町長

国益になる

TPPP「大筋合意」への認識は



心配される農業への影響

【大森】「合意」についての町長の認識は。

【町長】国益になり、国際的な繁栄につながると期待している。

【大森】調印中止を政府に申し入れないか。

【町長】全国町村会の決議で対策を求めた。

淀江の産廃処分場に反対せよ

町長

施設は必要と考える

【大森】淀江町小波に県が関与する産業廃棄物処分場が計画されており、住民は反対している。環境ホルモンによる汚染、人体への影響が心配される。イメージダウンによる観光や農産物への悪影響も予想される。

本町にとってもよそ事ではない。町長の認識は。

【町長】県は必要不可欠として進めている。

【大森】反対の意思表示はしないか。

【町長】県と同様に必要と考える。県は安全性を追求されると理解している。



「どうなっているの淀江産廃処分場計画」
 水を守るための
住民会議
 開催日 | 2015年11月22日(日) 13:00-16:00
 場所 | 米子市淀江町文化センター(さなめホール)
 電話・現状報告、意見交換
 質疑応答、パネル展示 等
 ※住民会議終了後、淀江町内でアヒル・パレードを予定します。

「水を守るための住民会議」のポスター